

あけましておめでとうございます

昨年は東京・大手町に読売新聞東京本社が竣工しました。超高層ビルとホールの一体化した事例としては岩手・盛岡に次いで2回目の経験でした。

更に市民懇談会のアドバイザーや設計者選定のためのテクニカルアドバイザーなどの経験もでき、また指定管理者選定委員については通算5回目の経験を積み重ねることができ、とても充実した一年を過ごすことができました。

本年も竣工・オープンを迎える施設が控えています、これまでの経験を活かし取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

A. T. Network 代表 近江哲朗

よみうり大手町ホール竣工

昨年11月28日の読売新聞朝刊をご覧になられた方は、新聞の4面にわたって紹介記事を掲載したため、読売新聞東京本社が大手町へ戻ることは既にご存知かと思いますが、大手町の新名所が出来上がりました。新社屋としては本年から業務開始となりましたが、4～5階のホール部分は3月末にオープンを迎えるべく、今年は早々からさまざまなテストランが行われます。501席の固定席を有する「よみうり大手町ホール」は可動式音響反射板を持つ高性能多目的ホールで、更に平土間スタイルの「よみうり大手町小ホール」があります。どうぞ注目ください。設計および設計監理は日建設計です。

写真-A.T.Network



上田市交流・文化施設もこの春先に竣工を迎えます

長野県・上田市で建設が進められている上田市交流文化芸術センターおよび上田市立美術館は、この5月の竣工を目指していよいよ追い込みです。1530席の固定席を有する大ホール、小ホール、スタジオ群、と舞台芸術施設としても十分な機能を備えており、更に美術館を併設するといった充実型総合文化施設です。昨年未まで愛称募集を行っており、そろそろ愛称も決定されます。プロデューサーに津村卓さんをお迎えして、舞台技術系担当も充実した経験者が揃いオープンに向けて今年は忙しくなりそうです。

設計および設計監理はTAK建築研究所+梓設計です。

写真-A.T.Network



川越の大型現場は今年が勝負です

埼玉県・川越市で建設が進められている、延べ面積約40,000㎡の大型複合施設は埼玉県・川越市による合築型複合施設です。この中に約1700席の固定席を有するホールと平土間形式の多目的ホールがあります。竣工予定は2015年春ですので、今後も1年以上に渡って現場通いが続きます。運営についてはオープン当初から指定管理者制度を導入する予定で、既にその選定も終わりました。川越駅西口から徒歩でも約5分という好立地もあり、東側の蔵の街と併せて川越の新たな名所になるよう期待しております。川越という街は通えば通うほど好きになります。設計および設計監理は佐藤総合計画です。

写真-A.T.Network



編集後記

現場へ通うことが多かった効果でしょうか、万歩計は1万歩を超える日も多くなり、よく歩いた一年だったと思います。決してゴルフで歩いているだけではありません。それにしてもオーバーウェイト状態はなかなか改善できず、事務所では神戸とオーバー比べをしているような状態を今年こそ改善しなければなりません。(近江)

2014年のご案内・他

2012年業務開始 1月6日 (土・日・祝祭日は休日)

今年も現場・打合せに出掛けることが多くなりそうです。事務所を留守にすることもあり、ご迷惑をおかけしますがどうぞご了承願います。